

# 愛知県基幹的広域防災拠点（第1期：消防学校）

## 整備コンセプト 『名古屋市との共同設置による全国初の消防学校教育』

運用方針：全県一貫した教育訓練による県内消防力の強化、地域への施設の開放など開かれた消防学校として運営

整備イメージ ※ 整備イメージは、事業提案に基づく現時点でのイメージであり、今後、変更される場合があります。

### ●教育棟

- ・防災・減災の普及、啓発及び人材育成を担う施設
- ・県職員が常駐し防災啓発、防災ビジネス支援の拠点として運営
- ・防災フェスタ、県総合防災訓練をはじめ、県民参加型の防災各イベントを定期的実施
- ・小中学生などを対象とした防災普及啓発や近隣大型施設と連携した合同イベントなどを実施

### ●救助訓練棟・雨天訓練設備

- ・全国消防救助技術大会等の基準を満たした施設
- ・救助訓練棟全体を覆う大屋根を設置し、雨天でも訓練可能とする（全国初）

### ●街区消火訓練場

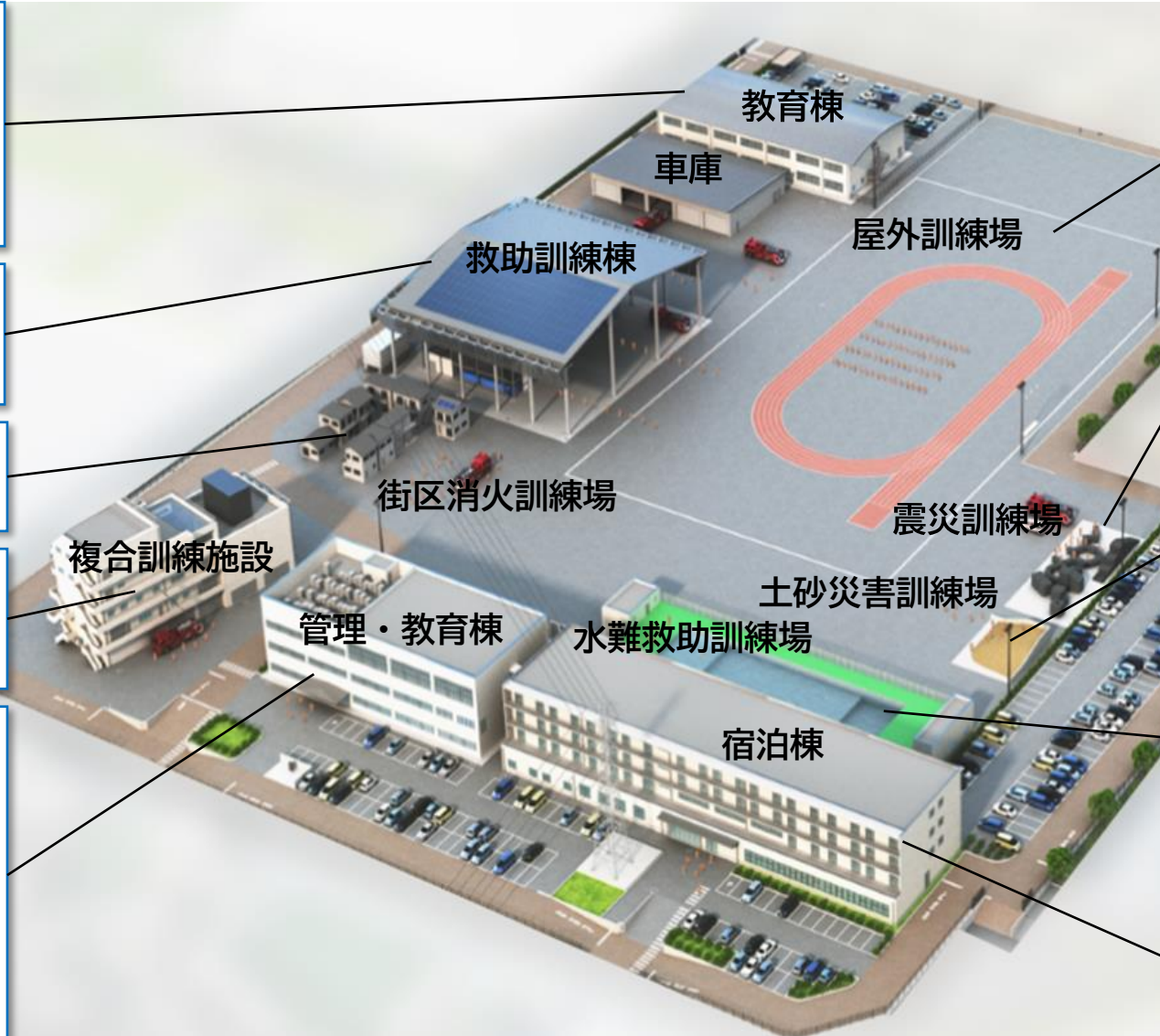
- ・可動式模擬家屋9棟（住居・店舗等）を用いて様々な街区を想定した救出・消火訓練を実施

### ●複合訓練施設

- ・高層建築物での火災等を想定した消火、救出訓練を実施
- ・実火災を再現し、高度な消火技術を錬成できる訓練を実施
- ・煙の無害化处理設備を設置

### ●管理・教育棟

- ・初任科学生最大350人を収容可能な大教室、専科用講義、シミュレーション訓練で用いる中・小教室を配置



### ●屋外訓練場

- ・愛知県消防操法大会が実施できる仕様を満たした屋外訓練スペースの確保



### ●震災訓練場

- ・建築物が倒壊した現場を想定した被災者救出訓練機能の確保

### ●土砂災害訓練場

- ・土砂災害を想定した実技訓練、生き埋め検索訓練等の機能の確保

### ●水難救助訓練場

- ・河川、海岸からの救出を想定した訓練を実施
- ・縦50m×横14m、6コースの訓練プール
- ・水槽に1.2m、3m、5mの異なる水深を設ける
- ・水中スピーカー、訓練用観察窓を設置
- ・全国消防救助技術大会等の基準を達成

### ●宿泊棟

- ・学生350人の宿泊室を確保、収容人数の拡大にも対応
- ・最大400人が食事可能なスペースを確保
- ・談話室、トレーニングルーム、図書室を設置
- ・季節や行事に応じたテーマ性のあるメニューを提供

### 【維持管理】

- ・不具合が発生する前に定期的なサイクルで交換等を行う予防保全を基本とした、合理的な点検・保守・修繕を実施

### < 拠点運用時の中核施設としての活用 >

- ・管理・教育棟に、オペレーションルームを設置し、本拠点における各災害対応業務の統括を行う機能として活用
- ・管理・教育棟は免震構造とし、県災害対策本部の代替機能、各防災関係機関の活動スペースとして活用
- ・宿泊棟において、拠点で活動する要員（県本部機能、物流拠点、DMAT本部の各要員）350人の宿泊室を確保（廊下等を活用し、更なる要員の受入れを目指す）
- ・屋外訓練場を、消防応援部隊のベースキャンプとして活用
- ・教育棟を広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）として活用し、早期に体制を確立
- ・1週間の電力を確保する自家発電機、2週間の飲料水・生活用水の確保、県独自の次世代高度情報通信、公衆無線LANを設置し、耐災害性を備えたライフラインを整備（拠点運用時の活用を想定した再生可能エネルギーを導入）

### < 拠点運用時イメージ >



屋外訓練場  
(消防 ベースキャンプ)



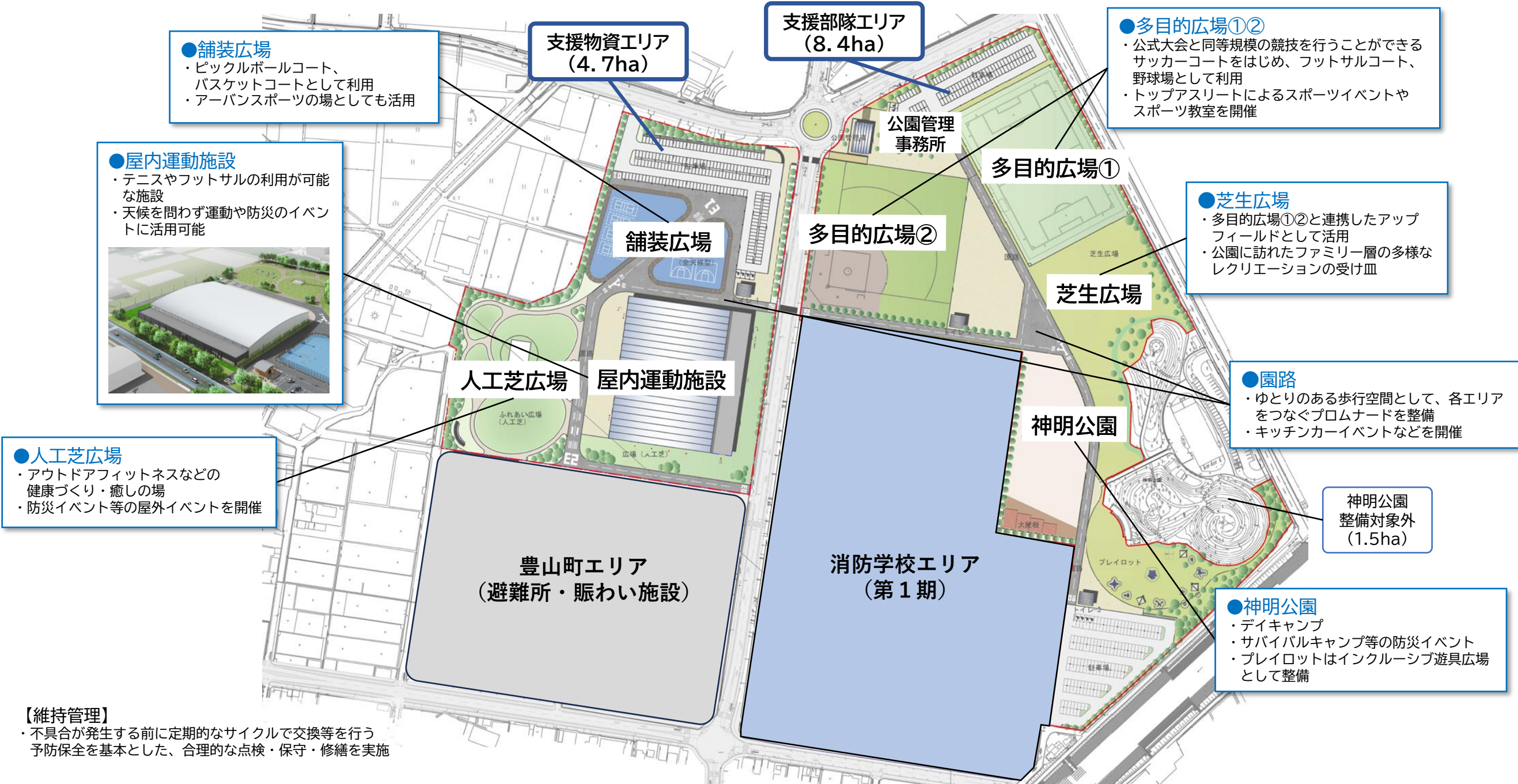
教育棟  
(SCU 活動スペース)



管理・教育棟

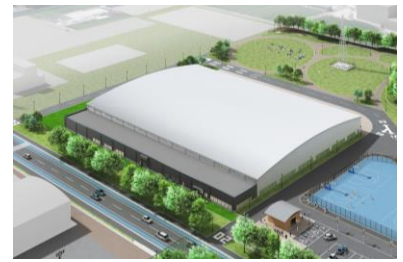
運用方針：賑わいの創出により地域を活性化するとともに、基幹的広域防災拠点機能を有する防災公園として運用

整備イメージ ※ 整備イメージは、事業提案に基づく現時点でのイメージであり、今後、変更される場合があります。



**●舗装広場**  
・ピクニックコート、バスケットコートとして利用  
・アーバンスポーツの場としても活用

**●屋内運動施設**  
・テニスやフットサルの利用が可能な施設  
・天候を問わず運動や防災のイベントに活用可能



**●人工芝広場**  
・アウトドアフィットネスなどの健康づくり・癒しの場  
・防災イベント等の屋外イベントを開催

**支援物資エリア (4.7ha)**

**支援部隊エリア (8.4ha)**

**●多目的広場①②**  
・公式大会と同等規模の競技を行うことができるサッカーコートをはじめ、フットサルコート、野球場として利用  
・トップアスリートによるスポーツイベントやスポーツ教室を開催

**●芝生広場**  
・多目的広場①②と連携したアップフィールドとして活用  
・公園に訪れたファミリー層の多様なレクリエーションの受け皿

**●園路**  
・ゆとりのある歩行空間として、各エリアをつなぐプロムナードを整備  
・キッチンカーイベントなどを開催

神明公園 整備対象外 (1.5ha)

**●神明公園**  
・デイキャンプ  
・サバイバルキャンプ等の防災イベント  
・プレイロットはインクルーシブ遊具広場として整備

**【維持管理】**  
・不具合が発生する前に定期的なサイクルで交換等を行う  
・予防保全を基本とした、合理的な点検・保守・修繕を実施

**<拠点運用時の支援物資エリア・支援部隊エリアとしての活用>**

- <支援物資エリア>**
  - ・屋内運動施設は、雨天時にも物資の集積に対応でき、屋内外でフォークリフトが円滑に走行可能な広域物資輸送拠点として、また、備蓄食料等を保管する備蓄倉庫として活用
  - ・舗装広場・人工芝広場は、物資の仮置き場や輸送トラックの待機場所などとして活用
- <支援部隊エリア>**
  - ・多目的広場①②・芝生広場は、自衛隊のベースキャンプとして活用
  - ・神明公園は、警察・TEC-FORCEのベースキャンプとして活用

**<拠点運用イメージ>**

